



## 生産技術科 動物コースが先端技術講習会を開催しました。

**目的** 本校は平成29年度より、文部科学省のSPH事業の指定を受け、大学・研究機関・企業等と連携し、社会の変化や産業の動向等に対応した高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成に取り組んでいる。

この技術講習会では、動物コース2年生に対し、肉用牛のエコーによる妊娠鑑定および受精卵移植に関する学習(受精卵の回収および観察)について実演と講義を行い、理解を深める。

**日時** 平成31年2月7日(木) 11:00～12:50

**場所** 本校 川船農場(〒959-1513 南蒲原郡田上町大字川船河1164)

**講師** (株)TARO ファームケアクリニック 代表兼 獣医師 佐藤 太郎 様  
(〒955-0082 三条市西裏館2丁目11番32号)

**対象生徒** 生産技術科2年動物コース20名

**実施内容** (1)肉用牛のエコーによる妊娠鑑定  
(2)受精卵の回収および顕微鏡による受精卵の観察

**成果** ○飼育している繁殖牛で妊娠を鑑定する様子が理解できた。  
○受精卵の採取方法を理解し、実際に顕微鏡で確認できた。



講義を受ける2年動物コースの生徒

**生徒の感想** ○エコー検査では「胎児がどこにいるのか？」分かりにくかったが、講師の先生から詳しく教えていただき、理解し興味を持つことができた。

○母体の中で、順調に育っている様子が実際に知ることができて良かった。

○予想以上に小さい受精卵で、デリケートな構造だった、講師の先生が受精卵を丁寧に扱っており、大変そうだった。

○たいへん貴重な体験をすることができた、卒業後の進路の選択肢の一つになった。

**講師から助言** 受精卵移植は、実際に経験を積み重ねないと解らないことが多いので、機会があればまた講習会を行いたい。また今は「培養士」という職業もあり、全国各地で専門的に活躍している人もいるので、興味がある生徒は、その道へのアドバイスも可能である。

**担当者より** 生徒たちは普段、飼育や観察をしている牛の妊娠鑑定の様子や、実際に採取した受精卵の様子を学んだことで、より専門的な知識や見聞が広まったと思われる。

生徒たちが貴重な経験をし専門的知識が向上し、大変有意義な技術講習会であった。



受精卵の採取・確認の様子